

平成 30 年 8 月 19 日

庶務部の編成について

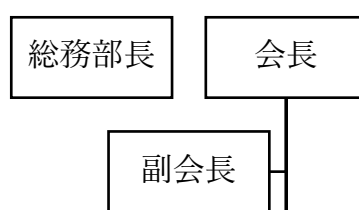
井出 壮一郎

- 放送研究会によるいわゆる『ウラでの研グル』や、合宿は非公式なものであるというのが現状の認識である。最近ではいくつも研グルが発足したり、また消滅したりと定着が進んでいない。さらには合宿の参加人数縮小も進みつつある。これは会の“縦のつながり”の弱体化をまねき、会の振興において不利な要素になりかねない。
そこで、ある程度大きなイベントにおいては【庶務部】として編成し、ある程度の予算編成をおこなう。ただし、現状総務から多くの予算を割くことは考えていない(合宿費や飲み会などでお金を徴集できるため)。できれば、合宿で余ったお金を総務にフィードバックする体制も確保したい。
- さらに、現状の問題として、合宿担当は普段の飲み会に比べ大きな予算を扱うにもかかわらず、その内実はブラックボックスである。その信用性を問いただしたりすることは考えていないが、合宿を公式のメインイベント化を図ることでその立場を明確なものにし、参加人数拡大を支えたい。

庶務課の主業務案

1. 放送研究会におけるアソビの管理
2. 放送研究会における合宿の管理(合宿担当の公式化)
3. 縦・横のつながりを強化するイベントの提案
4. 卒アル制作 (?)

新規組織図案



- 庶務部は制作部や技術部などと同様の階層に存在
- 庶務部長の階層も同じ、任期一年間で業務を行う
- 新たに規約の文章に追加して、正式に設立する。

庶務部内部構造案

- 庶務部長 1 名を長として置き、そのもとに庶務部員を各学年 2、3 名程度置く。
- 合宿担当は 2、3 年で行い、3 年生が基本的に主導する。(計 5~6 名になるので)
- 各研グルは設立する意思とともに、研グル名を庶務部長に報告し、登録する制度
 - 年度初めに各研グルをまとめて紹介するビラとかあるといいかも (おまかせ)
 - 研グル長は登録した時点でメーリスを活用して部員を集めるなどしてよい
 - 規模は不問
 - 無論いくら廃れても続いてもオッケー。

(補足)

1 年生に庶務部員を任せることはないが、夏合宿に庶務部員になりたいという人が決まった時点で、自発的なイベント開催を行ってくれるといいなあ。

【今後の指針】

→いきなり来期の庶務部長に丸投げするのはあまりにも酷なので、秋学期からベースづくりを始める。また、ぜひ来期庶務部長を立候補した方には僕といろいろベースづくりを考えてほしかったりします。

- ・合宿担当より、引き継ぎ書類の受け取り
→今後は庶務部内で共有したい
- ・現状残っている研グルのリストアップ
→皆さんに是非ご報告いただきたいです。拡大を考えているところ、またはこれからこんなことやりたいでもオーケー。
- ・年間の大まかなイベントスケジュールを作る
→設立初年度はこんな目標で行きますって感じで大まかなスケジュールがあると運営しやすいのかなぁとおもいました。
- ・庶務課として写真収集
→卒アル制作にむけて各学年で写真を共有したい。施策は考え中。たぶん最初が一番大変なタイプのやつなので、最初頑張って定着すれば…

その他考え中